



## はじめての海外が協力隊グアテマラ

私は今グアテマラ、フティアパ県フティアパ市の地域保健事務所で助産師として働いています。

2016年度4次隊 新井 美帆

派遣国 グアテマラ

2018年4月13日

コーヒーでグアテマラという国を聞いたことがあるという方もいるのではないのでしょうか。タイトルの通り私にとってはじめての海外がグアテマラでした。英語も苦手、海外経験がない。そんな私にできることはあるのか。協力隊に応募する勇気もなかなか持つことができなかつた自分を懐かしく思います。



配属先写真

「いつか海外で仕事をしたい。」そんな私の思いは今現実となっています。

夢が現実となった今、伝えられることを書きたいと思います。

私が生活している場所はエルサルバドルの国境近くで非常に暑い地域です。



グアテマラは先住民が多くスペイン語以外の異なった言語を使う地域も多く存在しますが、私の任地は先住民の割合は1%以下なのでコミュニケーションは全てスペイン語で行っています。来て驚いたことは日本製の自動車が非常に多く使用されていることです。

ほぼ 100%がキリスト教を信仰し、週末には神に祈りを捧げるために教会に行きます



神の存在を信じ、神に感謝する、それがこの国の当たり前です。そして家族や親戚を大切に思う愛情深い国民性を持っています。「結婚して家族に会えなくて毎日泣いていた。」と話す同僚もいたくらいです。また町を歩いていると彼らと異なった顔立ちから「チニータ(中国人)」や「コレアーナ(韓国人)」と声を掛けられます。けして彼らに悪気はなく、親しみを込めて話しかけてくれます。その度に「私は日本人だよ。中国や韓国には行ったことないよ。文化や言葉、食べ物も違うよ。」と話すととても驚いた表情を見せてくれますが、彼らにとって似ている、同じという認識なのです。大抵の場合説明すれば、それ以降は「ハポネサ(日本人)」と声を掛けてくれます。

私の任地は妊産婦死亡率が非常に高い地域です。

去年(2017 年度)だけで私の任地では 16 名が出産で命を落としています。

地域保健事務所では病院や保健センターを統轄しています。主にそれらの施設での母子保健向上のために私は派遣されています。日本の助産師の技術や知識を伝えています。そしてその中から彼らを取り入れたいと思ったものを支援しています。



※妊産婦死亡率=年間妊産婦死亡数÷年間出生数(出生数+死産数)×100,000

妊産婦死亡率比較	グアテマラ国 (2016 年度)	任地 フティアパ 県 (2017 年度)	日本 (2015 年度)
分娩 10 万件あたりの 妊産婦死亡率	110,0 名	142,4 名	5,0 名

私が現地で行っていることについて紹介したいと思います。

私の任地の病院では、年間 6000 件以上の分娩がありますが、70%近くが帝王切開となっています。原因はいろいろあります。妊娠前から適切な水分や栄養がとれていない、(グアテマラでの水道水からの水分摂取は衛生上推奨されていないため、煮沸消毒やお店での購入となる。)慢性的な栄養不足が原因の低身長、骨盤の未成熟。14 歳以下の妊娠。頻産。運動不足。また陣痛がはじまったら全ての産婦が絶飲食となります。それは全ての妊婦が帝王切開になってもいいようにです。しかし陣痛中は赤ちゃんを産みだすためにエネルギーが必要です。1 回の出産(初産婦)で約 2000kcal、フルマラソンと同じだけのカロリーを消費します。分娩進行中の絶飲食はエネルギー不足から微弱陣痛や産後の出血を増加させる危険があります。帝王切開は母子の命を救うために必要な技術ですが、創部からの感染、出血の増加、死亡リスクは増加します。

リスクの高い分娩が多い



帝王切開を行うため全ての妊婦への絶飲食



帝王切開率の増加



死亡率の増加

という悪い循環ができあがってしまっています。多くの人々がそれ事実を理解していても昔からのシステムを変えることはとても難しく多くの人々の理解と協力が必要です。それを現地の人が興味を持てるような形で伝え続けることが私の役割だと考えています。



月 1 回産婆の勉強会を任地の保健センターで行っているところです。産婆とは無資格の方をいいます。読み書きを知らない方が大半なので準備するスライドは写真やイラストを多く活用しています。



病院で分娩進行中の絶飲食の危険や帝王切開のリスクについて話させてもらったときの写真です。



中学校で性教育をさせてもらったときの写真です。グアテマラでの自然分娩の映像、帝王切開の映像を使用しました。そのような映像を見せることに消極的なのは日本も一緒ですが、母親と同僚の理解のもとそのような映像を使用しています。10代の妊娠が大きな問題となっているこの国で、自分がどのように生まれたのか、そして産んでもらったのかを知り、妊娠したらどうなるか想像できるようにという思いがあります。

## おわりに

目を通していただきありがとうございました。少しでも、国際協力、グアテマラに興味を持っていただけたら嬉しく思います。そしてもし、英語が苦手、海外経験もない…でも国際協力に興味がある！という方がいらっしゃいましたら勇気を出して一歩を踏み出していただけただけなら嬉しいです。努力は人一倍必要かもしれませんが、でも、強い思いさえあれば、きっとあなたにもできるはずです。自分のできることは微力かもしれませんが残り 1 年現地の方々とともに日本の助産師の知識や技術を共有していければと思います。

